

令和5年度「#あおばな in 根城中学校」開催概要

小・中学生と知事との交流を通して、県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や将来への期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり八戸市立根城中学校で開催しました。

○日時：令和5年10月26日（木）14：00～15：30

○場所：八戸市立根城中学校

○参加学生：3学年120名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見に知事がお答えしました。

- ①学習スペースの充実について
- ②県内の廃校を活用した「体験型脱出ゲーム」について
- ③新しいシッター制度導入と子育て相談施設について
- ④進学をメインとした準公立中高一貫校設立について
- ⑤地域活性化のための「まちあそび人生ゲーム」について
- ⑥地域の事業を手伝いながら旅行する「おてつたび」について

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

皆さんには勉強や学校の行事、部活など、やるべきことがいろいろありますが、大事なポイントは、「自分たちが何をしたいのか、何を残したいのか」を考えていくことです。

皆の提案を聞いてすごいなと思ったのは、八戸のことをよく勉強していて、その中で何ができるかということをよく考えてくれたということです。ぜひ、アイデアで終わってしまわないでほしい。これからの青森県を担っていくのは皆さんだから。

対話というのは、ただ話し合うだけではない。これが物事を作っていくし、世の中を変えていく。大切なことは、皆一人ひとりが主体性を持って、対話をして答えを探し続けるということです。野球ボールを見たら、その都度このことを思い出してほしいなと思います。

